

## ～「地球惑星科学連合 2021 年大会」で発表しました～

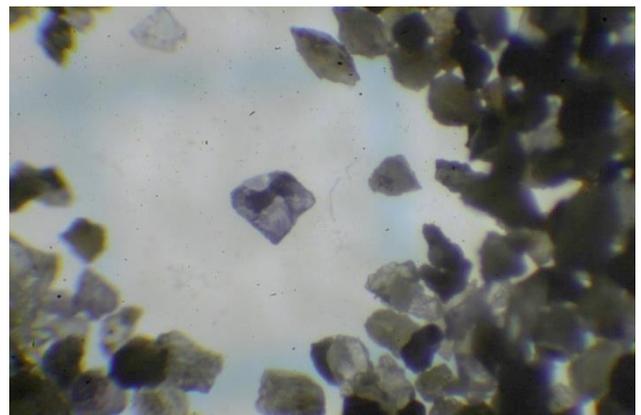
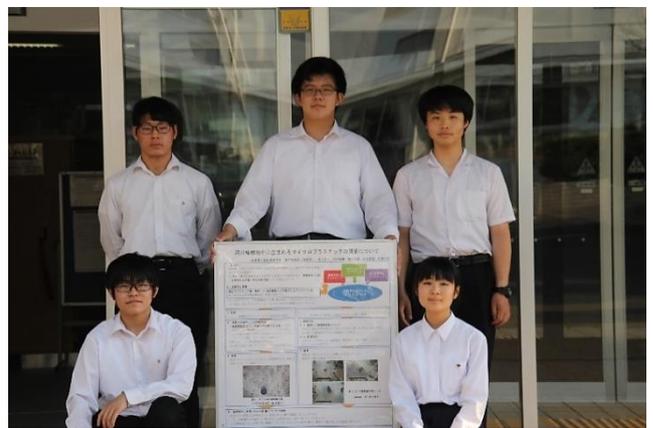
(自然科学部・地学物理講座)

普通科および理数科の探究活動は、授業内だけでなく部活動でも生かされています。特に自然科学部は、化学、生物、地学物理、数学研究の4つの講座に分かれ、講座の中に専門的な研究班もあります。今回、地学物理講座の地質班の2、3年生が、「地球惑星科学連合 2021 年大会」のオンライン発表会で発表し、その様子が朝日新聞に掲載されました。

以下、発表内容の抜粋です。

「地質班では、昨年度から長良川の砂を採取し、含まれるマイクロプラスチックを分析しています。近年、海面に浮かぶマイクロプラスチックが注目されていますが、もともとは人間の生活圏から河川などを経て、海へたどり着くと考えられています。

この過程には未解明の点も多く、地質班では水中に沈んだプラスチックを砂ごと採取し、染料をつかった分析で「どのような場所にマイクロプラスチックが多く含まれるか」を調べています。」



今年7月31日に和歌山県で開催される全国高等学校総合文化祭（わかやま総文）では、岐阜県の代表としてこれまでの分析結果を発表する予定です。